

ま 真室川町

議会だより

2022年7月25日

No. **159**



マムロガワクジラの化石
— 県立博物館で8月28日まで展示 —

物価高騰対策商品券配布(6月定例会議案審議) …	2
一般質問 (6人登壇) ……………	4
第2回臨時会 ……………	10
請願・陳情・議会のうごき ……………	11
議会まめ知識 ……………	12



2 ページに関連記事

6月定例会

会期：6月14日～16日

物価高騰対策商品券 一人1万円分を全町民に配布

一般会計補正予算

6月定例会は、14日から16日までの3日間の会期で開かれ、条例改正や一般会計補正予算の町長提案案件3議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

◆物価高騰対策商品券

平野勝澄議員 商品券は大蔵村では一世帯2万円分を2回出すと聞くが、町ではどう考えるか。

企画課長 当町としては当初予算で既決の50%プレミアム商品券事業を7月から展開し、

今般補正のキャッシュレス決済ポイント還元事業にも取り組んでおり、それに加えて全町民に一人1万円商品券配布なので、他町村に比べてもかなり手厚い事業になると考えている。

◆コミュニティ助成事業

◆梅里苑客室トイレ設置工事

高橋秀則議員 助成金の内容と購入後の維持管理の指導も含め伺う。

企画課長 大平、木ノ下、宮町一の3地区で、除雪機やエアコンの購入を予定している。購入後の維持管理については、地区の方々が大事に使っていただけるようしっかり指導を行う。

高橋秀則議員 助成金の内容と購入後の維持管理の指導も含め伺う。

企画課長 大平、木ノ下、宮町一の3地区で、除雪機やエアコンの購入を予定している。購入後の維持管理については、地区の方々が大事に使っていただけるようしっかり指導を行う。

◆キャッシュレス決済導入支援委託料

小松健弥議員 具体的にどのような計画でどのような事業を進めるのか。

企画課長 大手キャッシュレス決済企業が展開する自治体応援キャンペーンと連携し、スマートフォンアプリを活用してキャッシュレス決済額の20%を消費者へポイント還元する



町公式ラインアカウント

小松健弥議員 どのような機能拡張なのか。

企画課長 5月に開始した町公式ラインアカウントに防災機能やアンケート機能、カレンダー機能など6つの機能拡張を行う。

◆公共施設WiFi設置事業

小松健弥議員 いつ頃からどの施設から設置するのか。

企画課長 指定避難所

23か所や各総合施設、梅里苑コテージ、町民体育館、総合保健施設、既導入施設の拡充を含め合計29か所の整備を行い、10月からの運用開始を目指す。

◆産地ブランド化促進事業

舟生源氏議員 枝豆生産に対しての補助と理解しているが枝豆生産の作付面積はどのくらいか。

農林課長 今年度の計画作付面積は6haである。5年後には8haまで伸ばしていく計画である。

◆学校備品廃棄処分委託料

姉崎園子議員 学校備品廃棄委託料とあるが、何を廃棄するのか。

教育課長 パソコン教

室の専用机の廃棄にかかる委託料である。今年度の入学生が42名で密集・密接を避けるためパソコン教室を教室にしたことと、一人一台のパソコン導入により役割を終えたと判断し処分を決めた。

◆分館施設整備費補助金

佐藤正議員 どの分館で整備内容はどういうものか。今後の分館整備計画はあるか。

教育課長 大滝分館が、昨冬の大雪で玄関上の屋根が破損したため、その修繕工事への補助である。計画については、毎秋にすべての分館に要望調査を実施し、今年度は6分館で事業を行う予定である。緊急性の高いものがあれば相談していただければ、都度対応を検討し

◆町民球場フェンス

修繕工事

佐藤正議員 修繕は、全部なのか一部なのか。

教育課長 パックネット裏のフェンスが雪により変形し危険なため、観客席後部のフェンスをすべて修繕する。



町民球場の客席フェンスの現状

その他の議案

(※議案名は簡略標記しています)

◆町行政手続押印見直し関係条例の制定

◆町過疎地域固定資産税課税免除条例の改正

◆令和3年度※繰越明許費の報告2件

※繰越明許費とは、年度内に終わらない支出を、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することが出来るもの。

町政を問う「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員 P 4・5
●新庄神室産業高校真室川校の支援について
2. 小松 健弥 議員 P 4・5
●公共インフラ上水道の整備、更新状況について
3. 小松 正弘 議員 P 6・7
●冬季間、距離にかかわらず歩道のない地区にスクールバスを
4. 高橋 秀則 議員 P 6・7
●前森スギ認証を町の活性化につなげては
5. 舟生 源氏 議員 P 8・9
●旧平枝小学校の有効利活用について
6. 平野 勝澄 議員 P 8・9
●道の駅についての考え方は

新庄神室産業高校真室川校の支援について

教育長

■真室川校の魅力を感じてもらい、発信力を強化し、支援の取り組みを進めていく



姉崎 園子 議員

議員 真室川校の入学者の増加と存続に向け支援を行ってきたことが成果はいかがなものか。

教育長 真室川校魅力化計画の取り組みは、令和2年度に計画を策定し、令和3年度から事業を進めているが、コロナ禍の影響を受け、地域・企業・小中学校との連携については、

十分に活動できない事情にあり、定員の半分を割り込んでいる実情にある。大きな要因の一つとして、少子化、生徒数の減少がある。

最上地区の全日制県立高校と3つの分校の入学定員600人に対して受験者数335人、合格者数334人という結果である。新庄北高探究コース以外の生徒が増加し、進路選択

すべての高校の学科・コースが定員割れする傾向は、今後も続くことが見込まれている。県教育委員会では、令和8年度までに3つの分校を除き、普通高校1校と実業高校1校の2校に再編を予定している。他の要因として私立高校や最上管内以外の高校等を選択する生徒が増加し、進路選択

通をはかりながら、存続に向けてしっかりと支援していくことを考えている。

の多様化が進んでいる。私立高校は、学校経営目標の下、成績に応じた特待生制度、スポーツなど部活動の充実、

教育長 町として地域の活力源でもある高校の存在意義を踏まえ、県教育委員会と意思疎

通をはかりながら、存続に向けてしっかりと支援していくことを考えている。



新庄神室産業高校真室川校

議員 今後、真室川校の支援についてどのように考えているのか。

公共インフラ上水道の整備、更新状況について

町長

■財源の確保に努め計画的に更新を行い、水道水の安定供給を図る



小松 健弥 議員

議員 人々の暮らしに欠かせない公共インフラの老朽化が全国的に深刻な問題となっている。水道管の破裂や漏水事故が頻発しているようだが、本町の状況について5点伺う。

1、水道管の使用年数や更新状況、工事計画についてはどうなっているか。
2、本管を更新した場

合、各家庭への接続部分までの配管に対する対応はどうなるのか。
3、水道が整備されていない地区への対応は。
4、浄水場や水道施設の運用管理についてはどうか。
5、水質検査に必要なヘリウム供給不足が懸念されるが、対応は検討しているのか。

合、各家庭への接続部分までの配管に対する対応はどうなるのか。
3、水道が整備されていない地区への対応は。
4、浄水場や水道施設の運用管理についてはどうか。
5、水質検査に必要なヘリウム供給不足が懸念されるが、対応は検討しているのか。

町長 1点目、水道管法定耐用年数40年を経過した水道管の総延長は約13kmで配水管は補助対象外だが、国に對し制度拡充を要望しつつ、財源の確保に努め計画的に更新を行う。

2点目、給水管部分は町給水条例により各使用者が行う規定だが、緊急修繕や老朽管の計画的な更新、道路改良

に伴う工事の際は町で対応している。

3点目、滅菌機の導入については補助対象とする。

4点目、5つの給水区に配水池、浄水場、水源池、ポンプ室が計15か所あり、役場庁舎内にて各施設の設備・計器・計測値を集中管理しつつ、6月から7月の除草作業も行い環境衛生面の保持に努めている。

5点目、ヘリウムは検査委託業者で確保できしており、今後も安全・安心な水道水の提供に努める。

その他の質問

●防災行政無線の具体的な進め方について伺う

町長 戸別受信機や送受信装置など、機器類

の製作を進めながら中継局や再送信局の設置工事を行い、12月頃か

ら受信状況を確認しつつ、順次戸別受信機を設置する。



秋山浄水場

□冬季間、距離にかかわらず歩道のない地区にスクールバスを

教育長

■実情を把握し、町当局と連携し必要な対策を講じる



小松 正弘 議員

議員 小学生の通学路で歩道のない箇所について、どのような対策を考えているか。

教育長 本町は積雪寒冷地でもあることから、冬季の積雪や道路凍結、除雪された雪の歩道等への堆雪も危険要因となる。教育委員会としては、ハード的な対応については、まずは道路管理者に要望するこ

とになるので、今後でも粘り強く必要な要望改善を行っていく。教育委員会ができることとして、学校や地域、家庭と連携しながら、場所的な危険、時期的・時間的な危険を把握し、児童の安全意識を高めながら、児童への通学指導を行う。

議員 除雪により道路が狭くなり危険性の高

い地区では冬季間だけでもスクールバスの運行ができないか伺う。

教育長 小学校のスクールバス運行については、その目安を2km以上の通学距離がある場合としている。一方、徒歩通学の安全確保を図るうえで、大きな懸念がある場合は、こうした距離にかかわらず、保護者と学校の意見を

□前森スギ認証を町の活性化につなげては

町長

■森林管理署と協議のうえ活性化を検討する



高橋 秀則 議員

議員 当町の及位地区にある前森山周辺のスギが、この度、林野庁東北森林管理局が優れた国産材の有効活用に向けて新たに制定した高品質ブランド材規格の6種の中に入った。秋田杉や青森ヒバと並ぶものである。町として、このチャンスを活用化につなげていく考えはないのか。

町長 町内で育った良質の木材が、全国のユ―ザーから活用されることは町としても誇らしいことであり、銘木の産地である本町をPRできる絶好の機会と捉えている。

認定された丸太には、「前森スギ・最上」の記載がされ、専用ラベルには、「真室川」という記載がされないた

め、一般の方々が受ける印象として、「前森スギ」は、どこで生産されたのか分かりにくいという課題があると考えている。山形森林管理署最上支署を通じて、事業を所管する東北森林管理局に対して、真室川町の前森山周辺の国有林で生産されたスギであることが分かるように、例えば「真

室川前森スギ」など、産地が分かりやすい名称に変更が可能かどうか、町をPRするシールなどの貼付けが可能なのかどうかも含め要望していく。

また、案内看板については、最上支署で設置した「前森山人工林

その他の質問

●医療従事者をどのように確保していくのか

町長 勤務環境の改善や県内関係機関への要望等を継続していく。

聞きながら、必要な対策を講じている。具体的には、地域の児童数が少なく、登校班が一年生など低学年の児童だけの場合や冬季に交通量の多い国道や県道などの歩道が堆雪により支障がある場合に対応している。一昨年12月からスクールバス運行を開始した真室川小学校学区においても、前に述べた危険性のある箇所がある場合には、他の小学校区同様とすべきと考えているが、乗車させるバスの手配や運転業務に大きな予算が伴うので、通学の実情把握に努め、町当局とも連携し、必要な対策を講じる。



緑石のない歩道。児童を守る工夫が必要。

高齢級 国有林高品質材（合法証明付）

高 国

前森スギ

山形森林管理署 最上支署

ラベルに「真室川」の文字がほしい

旧平枝小学校の有効利活用について

町長

■産業振興につながる提案事業を検討する



舟生 源氏 議員

議員 真室川町としてこれから平枝小学校をどのように活用していくのか。

町長 本町の地域創生に結びつけられる活用のあり方に検討を加えていく。平成23年度「公共施設利用検討会」を設置し、今後の方向性を検討しており、地域の要望を踏まえ、平成24年度に所管する閉校

施設の現状と利活用の方向性を「学校施設跡地利活用計画」として整理している。当時、

地域の方々と検討された利活用の方向性は体育館など体育施設を地域に開放しつつ、学校をスポーツ、宿泊研修施設化、企業用施設化とすることが構想されていた。旧平枝小学校を全国に紹介し、民間

企業の活用を募集すべく廃校がある自治体と廃校を使いたい企業等とのマッチングを行う文部科学省「みんなの廃校」プロジェクト活用募集サイトに掲載し活用提案を募集している。これまで、県内外

のいくつかの企業や団体から施設概要についての問い合わせがあり、有料老人ホーム事業、

道の駅についての考え方は

町長

■エリア全体が波及効果を楽しめるよう協議していく



平野 勝澄 議員

議員 最上8市町村や地元商工団体などが参加する「新庄インターチェンジ付近道の駅検討会」が初会合を開いた。報道では、参加者からの関心と期待が寄せられている様子が述べられている。

東北中央道ルートの道の駅は、南は尾花沢、北は湯沢市で、確かにこの中間にトイレや休

憩施設がほしいが、管内の物産・観光振興の視点からは共倒れの恐れはないか心配でもある。町内経済や町民生活とのかわりをどう考えるか、道の駅のどのような機能を重視すべきか、町民の考えも

反映させながら、町として、しっかりとした構想を持つ必要があるのではないか。

町長 新庄インターチェンジ付近は高規格道路の縦軸と横軸が交差する交通の要衝であり、最上地域の「玄関口」として期待されており、計画する道の駅は、国

が示している基本的な機能を有するとともに、他の道の駅とは機能や役割を分担し効果的な連携を目指していくべきものと認識している。

その他の質問

●農業用廃プラスチック・廃ビニール・農ボリの処理について

町長 事業系ゴミの処理に対する助成は難しいと考えている。



旧平枝小学校校舎

その他の質問

●雪対策、終活サポートなど高齢者世帯への支援を

町長 本人の意思を尊重した生活が送れるよう、寄り添った対策を検討していく。

町としては、積極的にこの検討会に参画しながら、真室川駅前の活性化に活用しよう計画している旧庄内銀行真室川支店を、道の駅のサテライト施設と位置づけ、町の情報発信力を強化していくこととしている。

最上地域やこれと隣接する市や町がネットワークを構築し、エリア全体の魅力発信、エリア内での回遊を図り、連携するすべての団体が道の駅の波及効果を楽しめるよう、協議を重ねていく。



道の駅おがち(秋田県湯沢市)

第2回臨時会

会期：5月20日

第2回臨時会は、5月20日に1日間の会期で開かれ、専決処分の報告や契約案件、一般会計補正予算など町長提出案件7議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

◆野々村新田平岡線防雪柵工事契約

高橋秀則議員 今年の工事の規模は全体計画の中のどのぐらいか。工期と完成予定、交通規制の見込みは。

建設課長 総延長1000mを5か年計画で行う。今年度施工分は野々村溜池から約300m北の緩いカーブの前後200m。工期は5月6日から12月20日まで、降雪が本格的になる前に竣工させたい。くい打ち作業、柵設置の際には大型車両を横につけて作業をしなければならぬので、片側交互通行を行う予定。



防雪柵の工事現場

◆専決処分（町税条例の改正）

平野勝澄議員 この改正でいう「住宅用地以外の宅地」とは何か。件数と影響額は。

町民課長 農業用施設、つまり牛舎、豚舎、農業用倉庫等の敷地である。54筆で、5万2千円ほどの軽減となる。

◆除雪ドーザ購入契約

舟生源氏議員 何t級で何馬力のドーザか。**建設課長** 購入するドーザは14t級135馬力、及位地区に配置予定である。

小松健弥議員 計画的な更新が、故障により運用不可による購入か。**建設課長** 年次計画に基づいた更新である。

◆防災無線工事契約

小松健弥議員 他町村では、実際に各家庭に設置する際に場合によっては電波の入りが悪いなどの問題が出ているようだが、それらについてはすでに検証済みなのか、今後検証していくのか。

総務課長

基本的には1行政区当り3地点の電波伝搬調査を実施し、システム構成を設計している。今後各家庭に設置する際に個別に確認し対応していく。

菅原道雄議員 契約内容。

総務課長 親局（役場）、中継局（秋山の配水池付近）、再送信局（各地区5か所を予定）の整備と、各世帯への戸別受信機設置である。また、県の防災行政無線やJアラート、消防本部など、いろいろなシステムとも連携する。

一般会計補正予算

◆コロナワクチン接種事業

高橋秀則議員 これまでの3回の接種率は。後遺症に悩まされている方もあり、4回目の

接種率が下がる恐れはないか。

福祉課長 接種率は1回目が94・7%、2回目が94・1%、3回目

が5月18日現在で81%。現在も接種が続いていることから、接種率は今後上がるが見込まれる。4回目の接種は、対象となる60歳以上の3回目の接種率が今現在92・5%と、おおむね接種していたにいてることから、基礎疾患をお持ちの方も含め、同等の接種者数を見込んでいる。

その他の議案

◆専決処分（都市計画税条例の改正）

路線バス購入契約
注）議案名・事業名は一部簡略表記しています

請願

案件がありませんでした。

陳情

●女性トイレの維持及びその安全安心の確保についての陳情

【提出者】 女性スペースを守る会
共同代表 飯野 香里 ほか3名
※議員へ配布のみ

●国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

【提出者】
※議員へ配布のみ
井田 敏美

●中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情

※議員へ配布のみ
代表 漆山ひとみ

●沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

【提出者】 海事振興連盟
※議員へ配布のみ
会長 衛藤征士郎

町教育関係者との懇談会

◆7月12日（火）

議会では、例年、町教育関係者（教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局）との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ 「町・各校の特色ある教育活動について」

平成31年3月に策定された町の教育行政全体の課題に対応するための5カ年計画である「真室川町教育振興計画」が4年度目に入りました。

この計画に基づき、各保育所、こども園、各小学校や中学校では、それぞれが計画的に「ひと」「もの」「こと」などを活用した体験的な活動や学習を行って郷土愛を育んでおり、これ



までの取組みや成果などを紹介いただきました。また、町教育委員会事務局から、学校、社会教育・体育施設等の修繕や改修を計画的に行うための長寿命化計画について説明をいただき、質疑応答や意見交換を行って町の教育行政に関する理解を深める良い機会となりました。

議会のうごき

令和4年4月～7月

- 4月21日(木) 町議会議員協議会
- 5月11日(水) 県及び市町村長・議長会議
- 16日(月) 町スポーツ協会表彰式・町民総合体育大会開会式
- 18日(水) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 20日(金) 町議会第2回臨時会
最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 25日(水) 最上県勢懇話会
- 26日(木) もがみ中央農協真室川支店等起工式
- 27日(金) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会
最上開発協議会総会
- 30日(月)～31日(火) 町村議会議長・副議長全国研修会
- 6月2日(木) 県町村議会議長会臨時総会
- 7日(火) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 13日(月) 最上地方町村議会議長会監査
- 14日(火)～16日(木) 町議会第2回定例会
- 20日(月) 最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会
- 23日(木) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 27日(月) 最上市町村議会議長会定期総会
最上地方町村議会議長会定期総会
- 30日(木)～7/1(金) 産業福祉常任委員会所管事務調査
- 7月1日(金) 国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会総会
- 6日(水)～7日(木) 総務文教常任委員会所管事務調査
- 12日(火) 町教育懇談会
- 13日(水)～15日(金) 最上市町村議会議長会視察研修
- 14日(木) 町村議会広報研修会
- 19日(火)～20日(水) 県外先進地視察研修

○議会広報常任委員会の開催（6/29、7/7、7/12、7/14）

議会まめ知識

～議 案～

一般には、議会の議決の対象となる案件のことをいいます。厳密には「団体意思（町の意味）の決定を求める案」ですが、広くは、その前提要件となる副町長等の選任に対する同意案等や意見書案等の機関意思（議会の意思）決定に関するものも含まれます。

議決の対象となる案であり、町村長、議員及び委員会から議会に提出できることとなっています。

上程－説明－質疑－討論－評決の順に審議が行われます。（委員会に付託する場合は付託－委員会による審査－本会議への上程・委員長報告が加わります。）

議案と報告

～報 告～

法令に基づき、町長が議会に報告しなければならないものと、町長等から行政執行上の重要な事件についてその概要や処理経過などについて報告される「行政報告」（「諸報告」に含められる）があります。

前者は、5月臨時会の報告第1号・2号のような専決処分の報告や、今定例会の報告第3号・4号のような会計繰越報告などがあり、議案同様に独立して議事日程に上程されます。質疑だけで評決は行いません。

後者の「諸報告」は議長の「諸般の報告」や「行政報告」で、会期の決定後に行われます。こちらも評決は行いません。

傍聴お待ちしています

● 次回の
定例会は

9月です

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220（直通）

議会広報常任委員会

委員長	平野 勝澄
副委員長	小松 正弘
委員	小松 健弥
委員	舟生 源氏
委員	姉崎 園子

参院選の終盤、応援演説をしていた安倍晋三元首相が襲撃を受け、手当の甲斐なく死去されるという痛ましく衝撃的な事件が起こりました。亡くなられた安倍氏には心よりお悔やみ申し上げます。そして、いかなる理由があろうとも、言論活動の真っ最中の政治家を、背後からの銃撃で暴力的に葬り去ったこの事件、厳しく糾弾しなければなりません。民主主義と法治主義の否定であり、現代日本にあつてはならない暴挙です。

こうした無法に対し、法による厳粛な裁きは言うまでもなく、私たちが選挙でしっかり投票することも一つの回答となるのではないのでしょうか。この国は暴力によってではなく民意によって動かすのだ、という意思表示です。

この参院選で、わが山形県は投票率61・87％と、前回比1・13ポイント増、全国唯一の60％超えで、国政選挙で4回連続日本一となりました。当落の悲喜こもごもは脇において、山形県民として誇れる結果です。（平野勝澄）

編集を終えて